

取扱説明書

ご使用前に必ず、取扱説明書をお読みください。
尚、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

SPH2009

セット内容

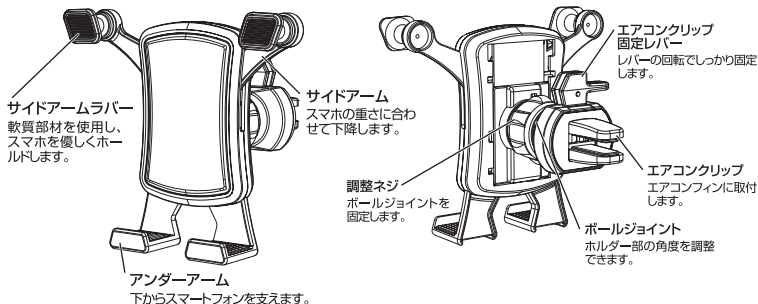


ホルダー本体×1

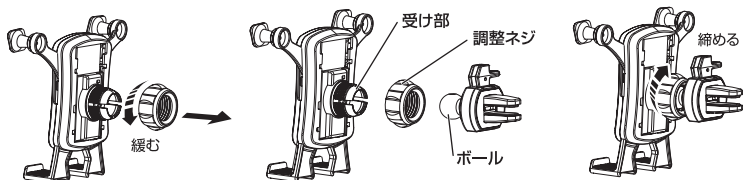


エアコンクリップ×1

各部名称と機能



ホルダー組立方法



①ホルダー背面のボールジョイント固定調整ネジを回して外します。

②エアコンクリップのボールにホルダー背面のボールジョイント受け部にはめ込んでください。
※調整ネジは図のようにボールジョイントと受け部の間にに入れてください。

③調整ネジを締めて組立て完了です。
※ネジタップのすずれに注意してください。

取付けイメージ

※エアコンフィンに取付ける際は、必ずクリップを奥まで入れてフィンをはさんでください。

横型フィン ヨコ型タイプ



※風向調整用ツマミや奥のフィンなどが干渉する場合は、避けたスペースに取付けてください。

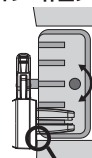


ここに隙間を作らないでください。



ここに隙間ができてしまうと傾きを保つ事ができず不安定になります。

フィン体型タイプ



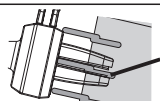
前後に回転

フィンの最下部(緑まで下げた位置)で取付けます。

左右回転式丸型フィン 丸型タイプ



フィンをどちらかに傾かせます。



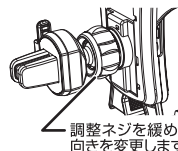
必ずフィンを傾かせ、フィンが下に折れたためない方向にして取付けを行ってください。

※スマートフォンが斜めになるような取付け方はしないでください。

縦型フィン タテ型タイプ



※風向調整用ツマミや奥のフィンなどが干渉する場合は、避けたスペースに取付けてください。



調整ネジを緩め、クリップの向きを変更します。

※取付けはできるだけ緑まで下げてください。

タテ型タイプのエアコンフィンに取付ける場合はボールジョイントの調整ネジを緩め、エアコンクリップの向きを変更して取付けてください。

取付けできるエアコン吹出し口の形状

タテ型タイプ



※下記の一つでも該当するタテ型タイプのエアコンフィンには使用できません。
22mm未満(後ろのフィンまで) 8mm未満
3.5mm以上 15mm未満
縦フィン 横フィン

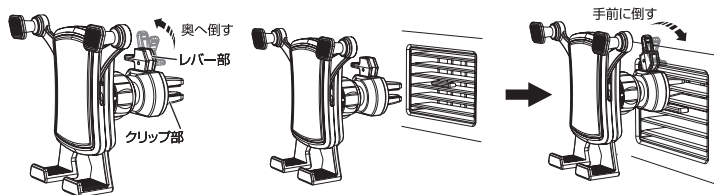
ヨコ型タイプ



※下記の一つでも該当するヨコ型タイプのエアコンフィンには使用できません。
22mm未満(後ろのフィンまで) 15mm未満
3.5mm以上 8mm未満
縦フィン 横フィン

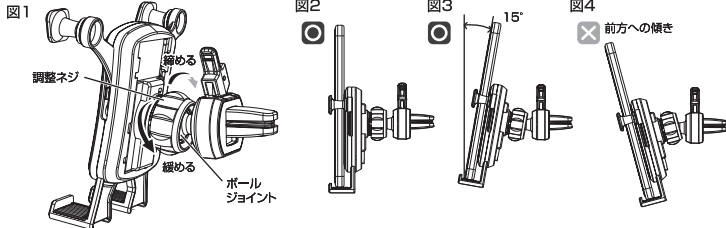
エアコンクリップ取付方法

- ※エアコンクリップの取付け、角度調整をする際は、エアコン吹出し口を手で押さえないで行ってください。
- ※エアコンクリップで指などを挟まないよう注意してください。
- ※運転の妨げになる箇所には取付けないでください。



- ①エアコンクリップレバーを回転させて、クリップ部が開いた状態にします。
- ②エアコンフィンにクリップ部を差込み、レバーを回転させてクリップを固定してください。固定レバーはフィンの厚みに合わせて回転位置を決めてください。(3段階調整可能)
 ※クリップ部は必ず奥まで入れて挿入してください。
 ※エアコンフィンの厚みによってはレバーを最後まで回転させるとフィンが破損する場合があります。
 ※風向調整用ツマミや奥のフィンなどが干渉する場合は、避けたスペースに取付けてください。

ホルダー使用方法



1. 設置が完了しましたら、ホルダー部を任意の角度に調整してください。【図1】
 ※スマートフォンをホールドした際にホルダー部が最大約15mm下がります。【図5】
 取付場所のスペースを必ず確保してください。
 ※ホルダーの傾き角度は垂直から上向き約15°程度を目安にしてください。
 前方へ傾けての使用はスマートフォンが落下する可能性がありますのでおやめください。
 ※必ず調整ネジを緩めてから調節してください。
 角度調整後は、調整ネジをしっかり締め、緩みがないことをご確認ください。
 ※運転中の操作は大きな事故などにつながりますのでおやめください。
 ※脱落などによる事故、破損の原因となりますので、両手で行ってください。

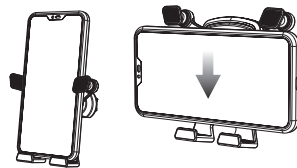
図5

縦置き



※スマートフォンをホールドした際にホルダーが最大約15mm下がります。

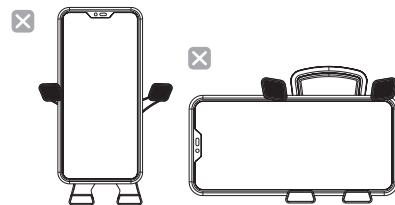
横置き



※スマートフォンをホールドした際にホルダーが最大約15mm下がります。

2. スマートフォンをホルダーにセットすると、自動的にアームが動きスマートフォンをホールドします。【図5】
 ホルダーの向きを変えることなく、縦置き・横置きに対応します。

図6



※スマートフォンはホルダーの左右中心付近から置いてください。中心からずれて置いた場合、うまくホールド出来ないことがあります。【図6】

△ 警告・注意

- △ 警告: 本製品の分解・改造は危険ですので絶対しないでください。また、分解・改造された製品について当社では責任を負いかねます。
- △ 警告: 走行中、運転者によるスマートフォン等の操作は法律で禁止されています。必ず車を安全な場所に停車してからご使用ください。
- △ 警告: 安全のため、次の場所は取付けないでください。■エアバッグ作動・効果の妨げになる場所 ■運転の妨げになる場所 ■突起物として危険が生じる場所 ■強い衝撃が加わる場所
- △ 注意: 走行前には必ず、本製品がしっかり固定されていることを確認してからご使用ください。不安定な状態での使用は脱落などによる事故、破損の原因となります。
- △ 注意: 本製品を取付ける際はサンカーレール(ヤシフトノブ、スイッチ類の操作に影響がないかをご確認し、正しく取付けてください。
- △ 注意: 本製品を直射日光の当たる場所や高温になる場所で保管しないでください。
- △ 注意: お車を離れる際はスマートフォンを車内に放置しないでください。
- △ 注意: 本製品には小さな部品が含まれます。口に入れると窒息などの危険がありますので幼児の手が届かないところで使用、保管をしてください。
- △ 注意: スマートフォン等をホールドさせた時に固定が不安定なまままでのご使用はお控えください。
- △ 注意: 取付時にエアコンフィンの汚れ等と接触して取り除いてください。
- △ 注意: 走行振動などにより徐々に可動部や調整ネジが緩んでくる場合があります。定期的に確認し、必要に応じて増し締めしてください。
- △ 注意: エアコンクリップは経年劣化により挟む力が低下する場合があります。定期的にご確認ください。
- △ 注意: 本製品には小さな部品が含まれます。口に入れると窒息などの危険がありますので幼児の手が届かないところで使用、保管をしてください。
- △ 注意: 本製品の使用による接続機器の故障・誤作動・各種メモリの消失、及び通話などの機会を逃したために発生した損害などの随時的補償について当社は責任を負いかねます。必ず各種メモリの控えを取ってからご使用ください。
- △ 注意: スマートフォンなどが落下等で破損した場合、当社では一切その責任を負いかねます。
- △ 注意: 商品に品質不良があった場合の保証は返品交換のみとさせていただきます。なお、商品が壊れ無損の場合は保証の対象となりません。
- △ 注意: 本パッケージ・取扱説明書に記載されている警告・注意などを守らない場合や誤った取付け、ご使用をされた事故・故障・破損などにつきましては当社では一切その責任を負いかねます。
- △ 注意: 異常を発見した場合は直ちに使用を中止し、当社お客様相談センターへお問い合わせください。